

numacompact 2



オペレーションマニュアル

J

重要安全事項



高電圧注意！

感電の恐れがあるため、分解は絶対におやめください。本体内部にスペア部品などは一切付属しておりません。修理は当社の販売店またはディリгент・テクニカルサポートまでお申し付けください。



電源について

感電のリスクを避けるために、本機を雨や湿気の多い場所には設置しないでください。また、液体を含むものを本体の上に置くこともおやめください。プールやバスタブ、湿気の多い地下室などでのご使用もおやめください。また、付属の電源アダプタ以外でのご使用をおやめください。



湿気について

感電の恐れがあるため、分解は絶対におやめください。本体内部にスペア部品などは一切付属しておりません。修理は当社の販売店またはディリгент・テクニカルサポートまでお申し付けください。

本機を低温の場所から高温の場所へ移動した場合、本体内部に凝結が発生する場合があります。この場合、本体が部屋の気温に十分馴染んでから電源を投入してください。



設置について

サイズ、重量を考慮し、安定性の高いキーボード・スタンドやラックをご使用ください。

お掃除／メンテナンスについて

強力な洗剤は絶対に使用しないでください。表面にしみがつく原因となります。軽く水をしみこませたマイクロ繊維の布でのお掃除をお奨めいたします。



付属品はマニュアルに従ってご使用ください。指定された以外のことで、本機に不具合が発生した場合、保証を受けられなくなりますのでご注意ください。



本機の性能を知っていただき使いこなしていただくために、本マニュアルの熟読をお奨めいたします。

製品概要

Numa Compact 2 をご購入いただき、誠にありがとうございます。本製品は、クラス最軽量とコンパクトサイズを誇る 88 鍵盤ステージ・ピアノ Numa Compact に新たなサンプリング音源やスピーカー内蔵してリニューアルしました。軽量 / コンパクトのコンセプトはそのまま、自室での練習、部活やストリートでのプレイにも最適です。

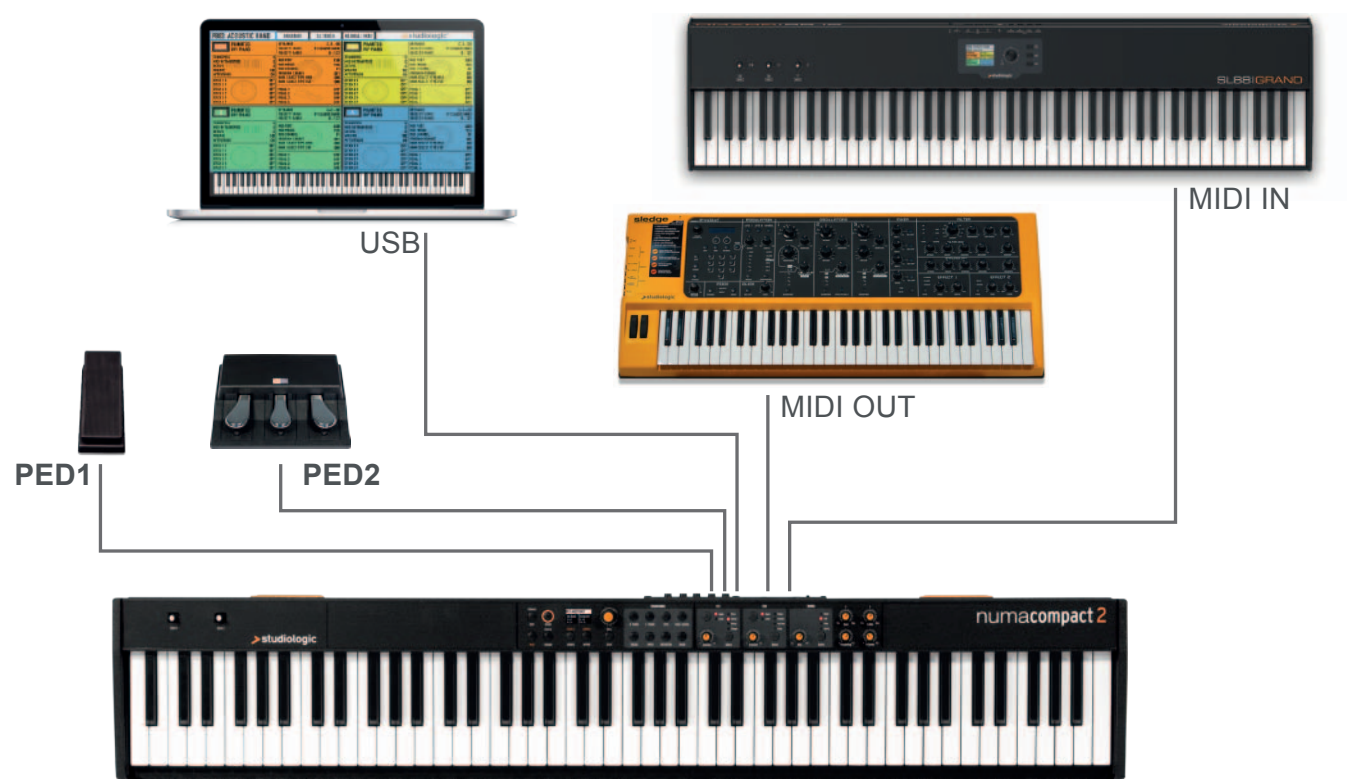
本製品をより安全かつ機能をフル活用するために、本マニュアルをよくお読みになることをおすすめします。

主な特徴

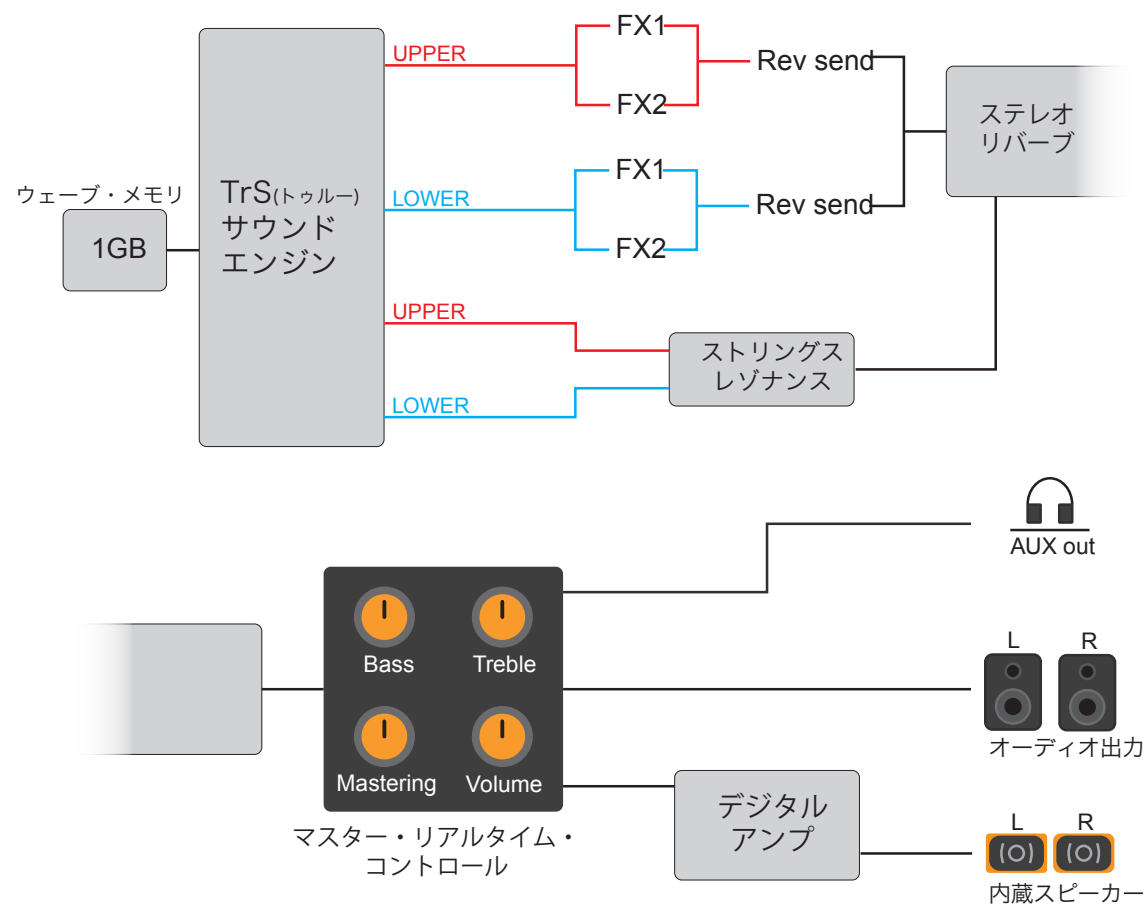
- ・ 鍵盤：88 鍵 TP/9 Piano semi weighted
- ・ アフタータッチ
- ・ スティック 1：ピッチベンド・コントロール
- ・ スティック 2：モジュレーション・ホイール + FX コントロール
- ・ 10+10W デジタルアンプ内蔵
- ・ OLED ディスプレイ：解像度 128 x 64
- ・ ダイレクト・コントロール・ユーザーインターフェイス
- ・ Lower / Upper / Zone A / Zone B
- ・ 4つのプログラマブル・セクション（サウンド と MIDI）
- ・ 1GB のサンプル・メモリー
- ・ スtrings・レゾナンス：全てのピアノ音色にてコントロール可能
- ・ Lower 2FX +Upper 2FX + リバーブ + スtring・レゾナンス
- ・ グローバル・エディット：8 パラメーター
- ・ マスター・コントロール：Bass、Treble、Mastering（3D + Copressor）
- ・ MIDI チャンネル、ボリューム、スプリットの割当て
- ・ 接続：USB、MIDI In/Out、ステレオ出力 (RCA)、ヘッドフォン出力、ペダル 1-2 入力
- ・ USB バスパワー対応（MIDI コントロールのみ）



接続例



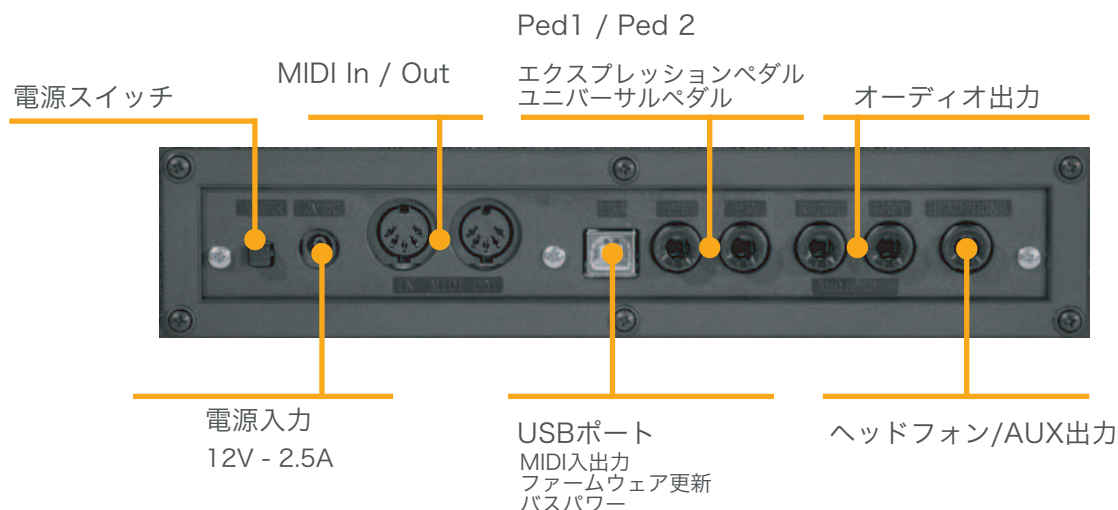
オペレーション・ダイアログ



Numa Compact 2の概要と機能について：

ライトウェイト・アクション	Numa Compact 2 は、Fatar による最新の革新的技術を採用しています。セミウェイテッド TP/9 Piano アフタータッチ付ボックス型キーボード。Numa Compact の重量はわずか 7.1 kg なので、可搬性に優れている上に Fatar 鍵盤の優れたタッチを提供しています。
8 サウンドバンク 88内蔵音色	精密にサンプリングされた 88 個のハイクオリティ・サウンドをすぐに演奏することができます。経験豊富なキーボード・プレーヤーやミュージシャンがこれらのサウンドを選択し Numa Compact 2 の操作感を容易にするための設計に関わってきました。したがって、Numa Compact 2 は、ステージ、スタジオ、または自宅での完璧なパートナーとなります。最大同時発音数の 128 ボイスを使用し、深みと表現力を加えます。スプリット・モードやレイヤー・モードのロウワー・セクション、アッパー・セクションに 2 つのサウンドをアサインすることができます。
FX1 - FX2- リバース ストリングス・レゾナンス	2 つのダブル FX プロセッサは、すべてのピアノサウンドのストリングスレゾナンス・エフェクトとあらゆる種類を無限に組み合わせられるステレオリバースに加え、Lower、Upper・セクションの両方に 2 種類の異なるエフェクトを割り当てることが可能です。
ミキサー&マスタリング 内蔵アンプ	ボリューム、ベース、トレブル、マスタリングの各コントロールを使用して好みのサウンドを得ることができ、楕円型のスピーカーを搭載したモニターアンプ・システムは、10+10W アンプ・システム、デジタル・コントロールされたイコライザーを使用することができます。最良の結果を得るために歪みを回避し、適切な周波数レスポンスを得るためにすべてのポットを半分の位置に設定してください。選択した音色に合わせて設定を変更することができます。
マスターキーボード機能	2 つのプログラム可能なゾーンを持つ Numa Compact 2 のマスターキーボード機能を使用すると、外部 MIDI デバイスをコントロールすることができ、音色の変更、レベル調整などを MIDI Out を通じて Numa Compact 2 から行うことができます。
オーディオの接続	ステレオのオーディオ出力と内蔵アンプシステムと同様に Numa Compact 2 にはヘッドフォンプラグも装備しているので、夜間のジャムセッションや練習に最適です。この接続はオグジュアリー・オーディオ出力としても使用可能です。
コンピュータとの相互接続	USB ケーブルを用いて、Numa Compact 2 をコンピュータに接続し、電源アダプタ（付属）を必要とせずに直接電源を供給することができます。MIDI データの送信には、USB と MIDI 出力を使用可能です。さらにファームウェアやサウンドライブラリーのアップデートは USB 経由でアクセス可能です。過度の電力消費、または電力低下を避けるために USB で電源を供給すると内蔵アンプシステムは自動的にオフになります。 ※単体の楽器として利用する場合は電源アダプタを使用してください。
パッケージに含まれるもの	・ Numa Compact 2 本体 ・ 電源アダプタ / AC ケーブル ・ USB ケーブル ・ CD マニュアル（英文） ・ 冊子マニュアル（本紙） ・ 製品保証書





電源入力 付属の電源アダプタを電源入力に接続し、電源スイッチを押して本機の電源を入れ、メインのボリューム、ベース、トレブル・コントロールを半分の位置に設定し、マスタリング・コントロールを最小の位置に設定してください（各機能については後述します）。過度な出力を避け、内蔵スピーカーが適正なダイナミクスで動作するようにしてください。

USBバスパワー



本機は、USB ケーブルによって電源を供給させることも可能です。コンピュータに十分な電力を供給することができる場合に限り、多くのデバイスがUSB ポートに接続されていない場合に限ります。本機に USB から電源を供給している場合、消費電力がコンピュータから供給できる範囲を超えると、内蔵アンプシステムが自動的にオフになります。
注意：接続が不安定な場合、電源アダプタをご使用ください（前の項目を参照してください）。

エクスプレッション / ユニバーサル・ペダル

オプションのペダルを Ped1、または Ped2 と記された端子に接続してください。Ped1 とラベルの付いた端子には、通常ボリューム・エクスプレッションコントロールを行うために Studiologic VP ペダルを接続してください。Ped2 端子には、スイッチペダル、ボリュームエクスプレッションペダル、またはトリプルペダル SLP3-D のいずれかを接続することができます。

オーディオ出力

外部のアンプシステムを使用する場合、または本機のサウンドをレコーディングする場合には、適切なオーディオ・ケーブルを使用して左右のオーディオ出力をミキサー、アンプ、オーディオ・インターフェイス等の入力に接続してください。

ヘッドフォン /AUX 出力は、GLOBAL エディット機能（本マニュアル内で後述）の設定に従ってヘッドフォン、またはオーディオの予備出力として使用することが可能です。予備オーディオ出力としてこの端子を使用し、本機をサブウーファーやその他のアンプシステムに接続し、L/R 出力を録音やその他のオーディオ接続に使用することが可能です。

ヘッドフォン / AUX出力

初めて本機を使用する場合、アウトプット・セクションのボリュームを全体の半分以上の位置に設定してください。演奏中は、選択した音色に合わせてボリュームを調整可能です。ボリュームノブを調節すると、同時にすべてのオーディオとヘッドフォンの出力に影響を与えます。

ボリューム

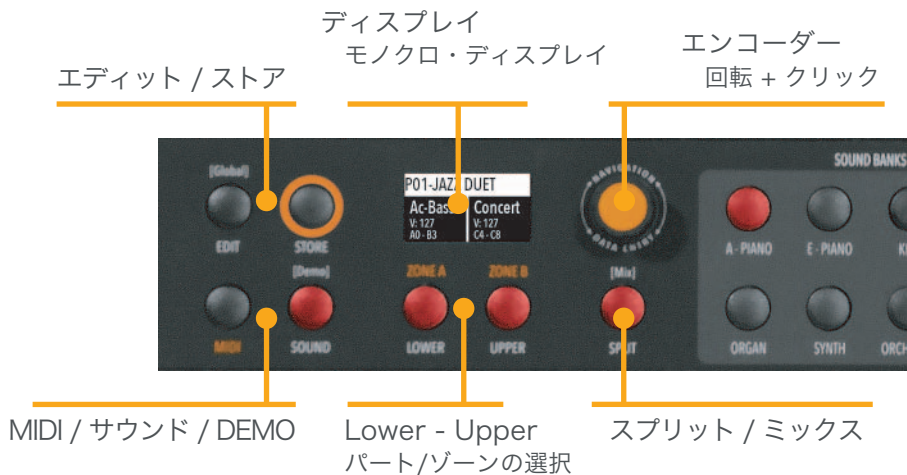
注意！

聴覚への悪影響を防ぐため、多くのオーディオ機器と同じように本機を長時間にわたって大音量で使用しないでください。



USB 経由でデータを送信するには、USB ケーブルで本機とコンピュータを接続してください。コンピュータと接続後に初めて本機の電源を投入にした際に、自動的にコンピュータが認識し、適切なドライバーが OS によってインストールされます。

USBクラスコンプライアント



メインとなるホーム画面は、電源投入時に表示されるもので、3つのエリアに分かれています。上部は、現在のプログラムナンバーと音色名が表示されていて、下側の左右部分にはサウンドモードのロウワー / アッパー・サウンドセクション、MIDI モードにはゾーン A、B セクションが表示されます。

フォーカス（ディスプレイ内のカーソル位置）を移動するには、3つのコントロールを使用します。以下を参照ください。

- エンコーダーをクリック：3つのポジション（プログラム、ロウワー、アッパー）を移動します。
- SOUND または MIDI を押すと、フォーカスがトップに移動します。
- Lower または Upper を押すと、フォーカスが関連したエリアに設定されます。



フォーカスがプログラム・エリアにある場合、エンコーダーを回して様々なプログラムを選択することが可能です。フォーカスがロウワー / アッパー・エリアにある場合、エンコーダーを回すと関連するボリュームをコントロールすることができます。

J

サウンド / MIDI

SOUND と MIDI の2つのボタンは、2つが関連しているビューとコントロールを切り替えることができます。サウンド・ボタンを選択して点灯させると、サウンド・セクションと選択、関連したすべてのディスプレイ、セッティング、エディット・ページやパラメーターをコントロールすることができます。MIDI ボタンを選択して点灯させると、ディスプレイは、MIDI ゾーンの A と B のステータスを表示し、使用可能なすべてのパラメーターにアクセスして機能や値を編集することができます。

サウンド・ボタンを長押しすると、各サウンドバンク毎に 1 曲ずつ、合計 8 曲のデモソングを順番に再生します。サウンドバンクをクリックすると、関連したデモを選択することが可能です。

デモ

スプリット機能のリアルタイム・コントロールで、グローバルエディット機能（スプリットポイント）とパートエディット機能（スプリットアサイン）によって、すべての詳細な編集とコントロールが可能です。
これは、瞬時にスプリットの有効 / 無効を切替え、スプリットをしなくても、レイヤーモードでキーボード全体のアップパー / ロウワー・パートを演奏するための素早い方法です。

スプリット

スプリットボタンは、ミキサーページを数秒間押し続けることでショートカットとして選択可能です。

本機はプログラムと呼ばれる 99 個のユーザープログラマブル・メモリがあり、MIDI ゾーンに関するすべてのサウンド、FX1/2 コントロール、値、機能、スプリットポイント等すべての編集可能なパラメーターをプログラム毎に保存が可能です。

ユーザー・プログラムの保存

保存ができない機能は、特定のプログラムに関係なく純粋なリアルタイム・コントロールである、ボリューム、ベース、トレブル、及びマスタリングです。
すべてのプログラムは、本書内の関連するセクション “グローバルエディット” で説明しているように、USB 経由で送受信が可能です。



サウンド・モード

サウンドモード内の 8 つのボタンを押して点灯させると、そのバンク名に従って編成された音色を選択することが可能です。各バンクには、様々なバリエーションのサウンドを持っており、それぞれ 4 つのサウンドページから成り立っています。バンクを選択すると、そのバンクのサウンド、現在のサウンドバンク、そしてバンクのサウンドの全ページ（ディスプレイの右上に表示）と選択したサウンドが反転表示されます。

バンク別のサウンドを選択するには、エンコーダーを回します。使用可能なすべてのサウンドがバンクの最初のページから最後のページに向かって順番に表示されます。選択はテンポラリーウィンドウ（5 秒間）が表示されている間に行うことができ、最後に選択したサウンドは自動的に各バンクごとに記憶されます。この機能により、各バンクの好きなサウンドを自動的に呼び出すことが可能になります。



サウンドの一覧

プリセットしているサウンドは以下の通りです。仕様は予告なく変更されることがあり、サウンドの一覧は、異なるファームウェア・バージョン、または将来のファームウェア・バージョンで若干変更、または更新される可能性があることをご了承ください。

A.PIANO

Concert
Stage
Vintage
Studio
Rock
Upright
E-Grand1
E-Grand2

E.PIANO

Rhodb
Wurlix
E-Pno1
E-Pno2
DxFm1
DxFm2
DxFm3
DxFm4

KEYS

Clavi
Harpsi
Vibes
Marimba
FunKlav
Cembalo
ReedOrg
GloKeys

BASS/GUITAR

Ac-Bass
El-Bass
Slap
Plucked
Ny-Guitar
El-Guitar
Ac-Guitar
Jz-Guitar
2 Guitars
12 Strings
BassRide1
BassRide2

ORGANS

JazzOrg1
JazzOrg2
DrawbVib
AllDrawb
888-Pure
888-Scan
MildSet
AllEven
V-Org
F-Org
Pipe1
Pipe2

SYNTH

SynthPad
SynHouse
SweetSaw
WowPad
Soloist
Funky
SynBass1
SynBass2
Jump
SynBrass
Square
Cluster

ORCHESTRA

Strings1
Strings2
Horns
Brass
Baroque
BigBand
BrassFall
SaxBand
TenorSax
JazzFlute
Trumpet
Oboe

OTHER

Cassotto
Accordion
Musette
Harmonica
ChoirAh
ChoirOh
ChoirUh
ChoirSint
Bouzouki
Kanoun
Oud
Cawala
Mizmar
Nai
StndKit
WorldKit



FX1 / FX2

2基のダブル・エフェクトプロセッサは、2台の別々のエフェクトをロウワーセクションとアッパーセクションにアサインすることができます。例を挙げると、FX1はアッパーセクションでドライブ、ロウワーセクションではコーラスに設定することができます。アッパー / ロウワー・ボタンを使用して関連するパートを切り替えることができ、そのパートのエフェクトを表示、選択することができます。さらに、ディスプレイの下にある2つのロウワー / アッパー・ボタンを使用して関連するFXを表示、変更することが可能です。

サウンドとFXの構造と信号の流れを次のように視覚化することができます。

アッパー > FX1 (4種類から1つ) > FX2 (4種類から1つ) > リバーブ (エディットでセンドをプログラム可能)

ロウワー > FX1 (4種類から1つ) > FX2 (44種類から1つ) > リバーブ (エディットでセンドをプログラム可能)

Amount (量) : 2つのノブは、ドライ / ウェットの比率 (コーラスのようなモジュレーション・エフェクトの場合) やドライブ・エフェクトのディストーション・レベルなど、選択したエフェクト量をコントロールします。

FX オートセット機能（リアルタイムエディット・セクションで説明したリアルタイム機能）は、専用のプログラムを保存することなく各サウンドの最後に保存した FX1 と 2 を自動的に記憶します。

のリアルタイム機能は、Stick2 と Sound、または FX コントロール（モジュレーションやエフェクトのスピードなど）を自動的に関連付けることも可能です。あるセクションで特定の FX が選択されると Stick 2 はロータリーのスロー / ファースト・スピードやフェイザーのスピード、フィードバックなどのパラメーターをコントロールします。

またフォーカス位置によって自動的にコントロールが設定されます。FX を使用せずに、ロウワーにフォーカスされているロウワーパートである場合、Stick 2 はモジュレーションをコントロールします。；またフォーカスがアッパーにありロータリーを使用したオルガンサウンドである場合、Stick 2 は、ロータリーのスロー / ファースト・コントロールを行ないます。

FX オートセット機能がオフ（次ページのグローバルエディットを参照）に設定されている場合、Stick 2 の機能はパートエディットの下にあり、オートアサインではなく各プログラムにすべての設定を保存することができます。

FX オートセットをオフにすると各サウンドに最後に選択した FX を自動的にアサインする機能は無効になり、FX の選択は、マニュアル、または 99 プログラムのそれぞれに保存された FX セッティングによってのみコントロールすることができます。

本機には強力な FX1-2 ダブル・エフェクトプロセッサに加え、アコースティックピアノ・サウンドバンク専用の STRINGS RESONANCE（ストリングス・レゾナンス）ポストプロセッシング・エフェクトが内蔵されており、グローバルエディットの関連したパラメーターでコントロールすることができます。

Numa STAGE や CONCERT などの Studiologic インストゥルメントで培われた経験によって作成されたこのエフェクトは、アコースティック楽器の実際の弦とサウンドボードの共鳴（レゾナンス）を再現し、ピアノサウンドにさらにリアルな効果をもたらします。

FX オートセット

ストリングス・レゾナンス （ダンパー・モデル

グローバル・エディットを有効にするには、エディットボタンを長押ししてください。；プログラムが選択されているかどうかに関わらず、インストゥルメントに影響を与える機能を備えた（画面右上に表示される）様々なページが表示されます。この機能を終了するには、もう一度エディットボタンを押すと、すべての設定が自動的に記憶されます。

フォーカス（カーソル）がディスプレイの一番上にあるときにエンコーダーを回すと様々なページを選択することができます。；カーソルをクリックすると、フォーカスがパラメーター上を移動し、エンコーダーを回して値を調整することができます。

グローバルエディットの主な機能は以下の通り：

TRANSPOSER



トランスポーザー：

インストゥルメントを他のキーにトランスポーズすることができます。エンコーダーをクリックして値の上にカーソルを移動させ、エンコーダーを回して希望の値に調整してください。

GLOBAL TUNER



グローバル・チューナー：

基準（A=440 Hz）に合わせなければならないその他の楽器とチューニングを合わせるために使用することができます。

VELOCITY CURVE



ベロシティ・カーブ：

テイストや演奏テクニックに応じて異なるベロシティ・カーブを選択することができます。3種類（SOFT/ NORMAL/HARD）のファクトリー・カーブとプログラム可能な固定ベロシティ設定があります。

FIXED CURVE



固定カーブ：

固定ベロシティが選択されているときは、ここで固定値（1 ～ 127）を設定することができます。

STRINGS RESONANCE (DAMPER EFFECT)



ストリングス・レゾナンス（ダンパー・エフェクト）：

ストリングス・レゾナンスのプロセッシング量をコントロールし、すべてのアコースティックピアノ・サウンドによりリアルな効果を与えることができます。また、コンサートグランドのサウンドには、このパラメーターでコントロールされていないナチュラルなエフェクトで作成された“リリースとレゾナンス”があります。

HEADPHONES (MODE)



ヘッドフォン（モード）：

このパラメーターが AUTO ON になっていると、ヘッドフォンを差し込むと自動的に内蔵アンプシステムがオフになります。オートオフに設定されている場合、ジャックにヘッドフォンが接続されているときも内蔵アンプシステムはアクティブなままです。これによりヘッドフォン出力を補助出力として使用できるので、レコーディングに使用したり、内蔵スピーカーに加えて追加のサブウーファーを接続することができます。

Ped1 は常にエクスプレッション・ボリュームのペダルに使用しますが、Ped2 は次のように、ほぼすべてのペダルを接続するようにプログラムすることができます。

- ・ シングルスイッチ：通常はオープン
- ・ シングルスイッチ：通常はクローズ
- ・ エクスプレッション（ボリューム機能、ステレオプラグ付きのペダル）
- ・ SLP3-D：ソフト / ソステヌート / サスティン機能付ハーフダンパー・コントロールのトリプルペダル

PEDAL 2



オートオンに設定されていると、以下のオート機能が有効になります。

各サウンドで最後に選択されたエフェクト（FX1、2）は、インストールメントに記憶され、プログラムにコンビネーションを保存する必要なくサウンドと関連する好みのエフェクトを選択することができます。FX オートセットは、各サウンドのユーザーが選択したエフェクトだけでなく、各エフェクトの Stick 2 でコントロールするパラメーターの値も記憶して呼び出すことが可能です。

FX AUTOSET



STICK 2 コントロールは、フォーカス / カーソルの設定、位置によって自動的に機能をアサインします。

フォーカスが（例として）アッパーでロータリーエフェクトでオルガンのサウンドを選択した場合、STICK2 はロータリーのスロー / ファースト・スピードをコントロールします。

ロウワー（エンコーダーをクリックするか、ロウワーボタンを押す）でフォーカスを移動し、ロウワーに別の FX がある場合、STICK2 は、ロウワー・エフェクトをコントロールします。

セクション（アッパー / ロウワー）に FX が選択されておらず、その上にフォーカスを移動させると、STICK 2 によって選択したセクションのモジュレーションをコントロールすることができます。

典型的な例として、エフェクトなしで、ロウワーにロータリーとベース、アッパーにオルガンが設定されているとします。：カーソルをアッパーに動かし、Stick 2 を動かすとロータリー・スピードをコントロールし、ロウワーにフォーカスを置くとモジュレーションをコントロールします。

注：このオート機能は、インストールメントで行われる演奏状況の統計に基づく選択です。すべてのパラメーターを直接的に、手動でコントロールしたい場合は、その機能をオフにし、関連したパートエディットで STICK 2 の機能を選択することができます。望ましいセッティングをプログラムに保存してください。

FACTORY RESET



すべてのユーザー・セッティングを無効にし、すべてをパラメーターを工場出荷時の値にリセットすることができます。この操作により、カスタム・セッティングやプログラミングが失われるので、操作は慎重に行ってください。誤ってリセットしないよう、デバイスをリセットする前に“YES/NO”メッセージが表示され、工場出荷時へリセットする意志の再確認を行ないます。

ファームウェア 確認とアップデート



ファームウェアを更新するには、以下の手順を行ってください。

- www.studiologic-music.com からファームウェアをダウンロードし、任意のフォルダに保存してください。
- インストゥルメントを電源に接続し、USB ケーブルを使用してコンピューターに接続してください。
- コンピューターに認識され、MIDI 出力デバイスとして選択されていることを確認してください。
- A0（左の最初の白い鍵盤）と D1（左から 4 番目の白い鍵盤）を押したまま電源を入れてください。ディスプレイに“Firmware Upload”というメッセージが表示されます。
- MIDI ファイルを再生可能なプログラムを開いてください。（PC 用の MIDI-Ox や Mac 用の QMidi 等）

○ファームウェア更新の手順についてのより詳しい方法は弊社サポートまで、お問い合わせくださいませ。

■Dirigentカスタマーサポート：

電話でお問い合わせの際は、Dirigent へのご登録確認のため、お名前・製品名・製品シリアルナンバーをお伺いいたします。また、メールでのお問い合わせは、Dirigent サポートサイトのお問い合わせフォームをご利用ください。

電話番号：03-6264-7818（受付時間：平日10:30～17:00）

休業日：土日祝日および弊社特別休業日

Dirigentサポートサイト：<https://dirigent.jp/support/>

すべてのプログラムをコンピュータ（PC/Mac）との間で送受信が可能です。機能を選択した後にエンコードを回して以下の手順で送信、または受信を選択してください。

PROGRAMS SEND / RECEIVE



WINDOWS

MIDI-Ox のようなプログラムを使用することができます。（コンピューターの USB/MIDI ポートと MIDI-Ox セッティングによって Numa Compact 2 が認識されているようにしてください。

コンピュータにデータを送信する：

- Numa Compact 2 とコンピュータを USB 経由で接続してください。
- Open MIDI-Ox を起動し、View/Sysex を選択してください。
- Sysex ウィンドウで、Sysex > Receive manual dump を選択してください。
- グローバルファンクションの SEND がアクティブな時にエンコードをクリックし、“YES” を選択、確定させて終了を待ってください。
- MIDI-Ox ディスプレイ・ウィンドウのバルクデータをファイルに保存してください。

データを Numa Compact2 に送る：

- “PROGRAMS SEND/RECEIVE” ウィンドウで “RECEIVE” を選択してください。
- MIDI-Ox を起動し、Sysex ウィンドウで Command > Window > Load File を選択し、ファイルを保存した場所を探してください。
- Command Window > Send Sysex を選択し、完了するのを待ちください。

MAC OS

SysEx Librarian のようなプログラムを使用することができます（Numa Compact 2 がコンピュータの USB/MIDI ポートと SysEx Librarian に正しく認識されるようにしてください）。

コンピュータにデータを送信する：

- SysEx Librarian を起動する。
- ツールバーで、デバイスとして “Numa Compact 2” を選択してください。
- SysEx Librarian の “Record many” ボタンをクリックしてください。
- グローバルファンクションの SEND がアクティブな時にエンコードをクリックし、“YES” を選択、確定させて終了を待ってください。
- 送信が完了したら SysEx Librarian の “Done” ボタンを押してください。
- ダンプが終了したら Display Window > Save as... を選択してください。好きな名称を付け保存してください。

データを Numa Compact2 に送る：

- “PROGRAMS SEND/RECEIVE” ウィンドウで “RECEIVE” を選択してください。
- SysEx Librarian のツールバーには “Destination” という名称のポップアップメニューがあります。それをクリックし、送信する MIDI ポートを選択してください。
- Sysex ファイルのリストから適切なファイルを選択し、“Play” ボタンを押して転送を開始してください。

フォーカス（カーソル）がディスプレイ内のプログラム・セレクション上部にある場合、エディット・ボタンを押すと以下のパラメーターとセッティングのエディットが可能になります。



PROGRAM NAME

PROGRAM EDIT [1/3]
PROGRAM NAME
JAZZ DUET

プログラム名：

この機能を選択した後、エンコーダーをクリックし、回転させている番号の文字を入力してください。小さな三角がエディット中の桁を示します。

新しい名称を確認したり前の値をキープするには“STORE”を押してください。ポップアップ・ウィンドウによって変更の確認を促されるので、エンコーダーを使用し“YES”、または“NO”を選択し、クリックしてください。

SPLIT POINT

PROGRAM EDIT [2/3]
SPLIT POINT
C4

スプリットポイント：

この機能では、各プログラムのスプリットポイントを設定するためにエンコーダーで希望のノートを選択することができます。国際規格に従い、キーボードの名称はA0（一番左側の鍵盤）からC8（一番右の鍵盤）になり、ディスプレイ下の中央のCはC4です。A=440 Hzの基準ピッチはA4で、ピアノの基準の8'を基準にしたすべてのサウンドのC4と同じオクターブのA（サウンドバンクの下）です。ビンテージトーンホイール・オルガンの16'ピッチのドローパーやパイプオルガンをベースにしている場合、一部のオルガンだけが1オクターブ下で再生されます。これらの場合、A4上の選択された音の基準は220 Hz（1オクターブ440 Hz以下）になります。

MIXER

MIXER			
L	127	U	127
A	64	B	64

ミキサー：

ミキサーを使用すると、4つのパートとゾーン（ロウワー / アッパー / ゾーン A / ゾーン B）を一度に1つのオーガナイズ・ページでコントロール可能です。この機能には、ショートカットを使用してアクセスすることもできます。MIXER マークと SPLIT ボタンを押したままにしてください。

1つのパートにフォーカスされており、サウンドモードになっている（サウンド・ボタンが選択され、点灯している）場合は、パートエディット・モードに入ります。パートエディットを選択した場合、ロウワー、アッパー・ボタンを押してエディットするパートを選択するか、エンコーダーをクリックしてください。



パートエディットには以下のパラメーターが含まれています：

ボリューム：

エンコーダーを回し、パラメーターをクリックしてフォーカスを移動させ、選択したパートのボリュームを 0 ～ 127 の間でコントロールすることができます。

VOLUME

PART EDIT [1/10]

VOLUME	VOLUME
127	127

スプリットの割当：

現在のプログラム（プログラムエディット）のスプリットポイントを選択すると選択したロウワー・セクション、またはアッパー・セクション（サウンドと MIDI ゾーンのいずれか）を完全に独立した方法で演奏するかを決定することが可能です。

SPLIT ASSIGN

PART EDIT [2/10]

SPLIT ASSIGN	SPLIT ASSIGN
TO LEFT	TO RIGHT

- TO LEFT：パートは鍵盤の左のセクション（A0 ～スプリットしたノートまで）を演奏します。
- TO RIGHT：パートは鍵盤の右のセクション（スプリットしたノートから C8 まで）を演奏します。
- TO ALL：パートは、鍵盤上をスプリットすることなく演奏し

この機能は、以下のいくつかの例やその反対の設定など多くの音楽的な組み合わせが可能です：

- スプリットポイントの左がベース + 右がピアノ
- 左が MIDI ゾーン（外部デバイスをコントロール） + 右がピアノとストリングス
- オルガン全体（TO ALL）と CHOIR を右側部分にのみ

1か所のスプリットポイント（各プログラムごとにプログラム可能）であっても、ロウワー、アッパー、ゾーン A、ゾーン B の組み合わせによって生み出すことができるスプリットセッティングの可能性は約 100 通りになります。

TRANSPOSE

PART EDIT [3/10]

TRANSPOSE	TRANSPOSE
0	0

トランスポーズ：

この機能では、パートを移調することができます。グローバル・トランスポーズと違い、サウンド・セクション、MIDI ゾーンごとに独立して設定することができます。各プログラムに異なる値を保存することができます。この面白い組み合わせは、音のインターバルを -5 半音のような一定のインターバルを持つ“クラスター”として知られるものを得るために音程を移調することができます。アッパーでトランペットと、ロウワーでサックスを選択し、サックスを -5 半音下げ等の一般的なジャズセッティングをお試しください。

OCTAVE

PART EDIT [4/10]

OCTAVE	OCTAVE
0	0

オクターブ：

パートごとに別々のオクターブを設定することができます。コードをより広いレンジで演奏するには、ロウワーパートを 1～2 オクターブ上にトランスポーズする必要があります。逆に、スプリットがアクティブな時にアッパーを 1～2 オクターブ下げることでより良いサウンドが得られる場合もあります。左側のスプリットされたベースと組み合わせてテナーサックスを選択した場合、テナーサックスのより低くより良いサウンドがスプリットポイントよりも左側にある可能性があるのがこの理由です。お好みの設定を試し、使用中のプログラムに保存してください。

REV SEND

PART EDIT [5/10]

REV SEND	REV SEND
64	64

リバーブ・センド：

ロウワーパートとアッパーパートに独立してリバーブへの送り量（センド）をコントロールし、各プログラムごとに異なる設定をプログラムすることが可能です。典型的な設定として、鍵盤をスプリットし、左にベースをアサインした場合にリバーブ量を減らす。または最小にし、アッパーの設定をコントロールして目的のエフェクトを得ることが可能です。フロントパネルのミックス・ノブは、リバーブ・タイプを選択し、船体のリバーブミックス（ドライ / ウェット）を調整したり、値を送信したりすることができます。

PEDAL 1 - PEDAL 2

PART EDIT [6/10]

PEDAL 1	PEDAL 1
ON	ON

ペダル 1 - ペダル 2

セクションごとにペダルを有効にするかどうかを決定します。
(MIDI ボタンがオンの場合、アッパー / ロウワー、またはゾーン A / ゾーン B)

STICK 1 - STICK 2

PART EDIT [8/10]

STICK 1	STICK 1
ON	ON

スティック 1 - スティック 2

ペダルまたスティックに関しては、パートとゾーンに対し、別々に有効にすることができます。関連する FX オートセット機能がグローバルエディットでオンに設定されていると Stick 2 は、自動的にオートに設定されます。Stick 2 のアサインをマニュアルでコントロールするには、FX オートセットをオフに設定し、機能のオン / オフを切り替えてプログラムに保存することができます。

アフタータッチ：

選択したパートやゾーンのアフタータッチ機能の有効 / 無効を切り替えます。アフタータッチの機能はほとんどの場合で、Stick 2 のモジュレーション・コントロールと同じですが、ビブラートやその類いのモジュレーションをサウンドに加えるために設定することができます。通常は、メインパートやソロ演奏で使用するアッパーのアフタータッチをオンにします。スプリットが有効な場合、ロウワーは伴奏やベースラインに使用されていることが多いからです。

AFTERTOUCH

PART EDIT [10/10]



MIDI

本機は、2つの独立した MIDI ゾーンをコントロールすることができます。結果は、内部のロウワーとアッパーの設定とともに共通のスプリットポイントと独立したセッティングを使用するプログラムに保存することができます。MIDI ボタンが選択され、エディットボタンが有効になっている場合の機能のステップ。実際の機能の値がディスプレイに表示され、エンコーダーを回して調整することができます。MIDI ボタンが点灯していると

プログラム・エディット

関連する章で説明したプログラム・エディットは、サウンドと MIDI に共通しています。それは、サウンド・セクションと MIDI セクションの両方に関連する一般的なパラメータについて説明しています。以下のゾーンエディットの章では、選択に応じて特定の MIDI ゾーンのパラメータを設定し、インターナル・サウンドについて設定されている他のすべてのパラメータと同じ名称と番号で同じプログラムにそれらを保存することができます。

ゾーンエディット

フォーカス（カーソル）がゾーン内の 1 つにあり、MIDI モードになっている（MIDI ボタンが選択され、点灯している）場合、ゾーンエディット・モードに入ります。ゾーンエディットを選択している場合、ゾーン A、またはゾーン B ボタンを押してエディットするゾーンを選択するか、エンコーダーをクリックして他のインストゥルメントの機能と同じようにフォーカス（カーソル）を移動させてください。



ゾーンエディットには、以下のパラメーターがあります。

PROGRAM CHANGE

ZONE EDIT [1/13]	
PRG CHG	PRG CHG
0	0

プログラム・チェンジ：

接続しているデバイス、/VST/ サウンドジェネレーターの特定のサウンドマップを参照し、コントロールされるデバイスやサウンドジェネレーターのプログラムチェンジナンバーを入力します。値の範囲は 1 ～ 127 です。

LSB - MSB

ZONE EDIT [2/13]	
BANK LSB	BANK LSB
0	0

LSB - MSB：

LSB は最下位バイトを表し、MSB は最上位バイトを表します。MIDI 規格で定義されている標準の 127 個のプログラムチェンジやより多くのバンクをコントロールすることができます。正しい番号を入力するには、コントロールするデバイスの選択とコントロールするための MIDI データが記載されている MIDI インプリメンテーション・チャートを参照する必要があります。

MIDI CHANNEL

ZONE EDIT [4/13]	
MIDI CH	MIDI CH
2	1

MIDI チャンネル：

各ゾーンの MIDI チャンネル（値 1 ～ 16）を選択し、2つの異なる外部デバイスやサウンドジェネレーターをコントロールすることができます。

ボリューム：

エンコーダーを回し、パラメーターをクリックしてフォーカスを移動させ、選択したパートのボリュームを 0 ～ 127 の間でコントロールすることができます。ゾーンのボリュームは、エディットモードではなく、MIDI ボタンが点灯し、カーソルのフォーカスがゾーン内の 1 つにある時に直接コントロールすることができます。

スプリットの割当：

現在のプログラム（プログラムエディット）のスプリットポイントを選択すると選択したロウワー・セクション、またはアップパー・セクション（サウンドと MIDI ゾーンのいずれか）を完全に独立した方法で演奏するかを決定することが可能です。

- TO LEFT：パートは鍵盤の左のセクション（A0 ～ スプリットしたノートまで）を演奏します。
- TO RIGHT：パートは鍵盤の右のセクション（スプリットしたノートから C8 まで）を演奏します。
- TO ALL：パートは、鍵盤上をスプリットすることなく演奏します。

1 か所のスプリットポイント（各プログラムごとにプログラム可能）であっても、ロウワー、アップパー、ゾーン A、ゾーン B の組み合わせによって生み出すことができるスプリットセッティングの可能性は約 100 通りになります。

トランスポーズ：

この機能では、パートを移調することができます。グローバル・トランスポーズと違い、サウンド・セクション、MIDI ゾーンごとに独立して設定することができ、各プログラムに異なる値を保存することができます。

オクターブ：

パートごとに別々のオクターブを設定することができます。コードをより広いレンジで演奏するには、ロウワーパートを 1 ～ 2 オクターブ上にトランスポーズする必要があります。逆に、スプリットがアクティブな時にアップパーを 1 ～ 2 オクターブ下げることにより良いサウンドが得られる場合もあります。左側のスプリットされたベースと組み合わせてテナーサックスを選択した場合、テナーサックスのより低くより良いサウンドがスプリットポイントよりも左側にある可能性があるのがこの理由です。

ペダル 1 - ペダル 2

カーソルのフォーカスが設定されている場所（ゾーン A またはゾーン B）に応じて各ゾーンのペダルの有効 / 無効を個別に切替えることができます。

スティック 1 - スティック 2

ペダルまたスティックに関しては、パートとゾーンに対し、別々に有効にさせることができます。関連する FX オートセット機能がグローバルエディットでオンに設定されていると stick 2 は、自動的にオートに設定されます。Stick 2 のアサインをマニュアルでコントロールするには、FX オートセットをオフに設定し、機能のオン / オフを切り替えてプログラムに保存することができます。

VOLUME

ZONE EDIT [5/13]

VOLUME	VOLUME
64	64

SPLIT ASSIGN

ZONE EDIT [6/13]

SPLIT ASSIGN	SPLIT ASSIGN
TO LEFT	TO RIGHT

TRANPOSE

ZONE EDIT [7/13]

TRANPOSE	TRANPOSE
0	0

OCTAVE

ZONE EDIT [8/13]

OCTAVE	OCTAVE
0	0

PEDAL 1 - PEDAL 2

ZONE EDIT [9/13]

PEDAL 1	PEDAL 1
ON	ON

STICK 1 - STICK 2

ZONE EDIT [11/13]

STICK 1	STICK 1
ON	ON

AFTERTOUCH

ZONE EDIT [13/13]

A.TOUCH ON	A.TOUCH ON
---------------	---------------

アフタータッチ：
選択したゾーンのアフタータッチ機能の有効 / 無効を切り替えます。アフタータッチの機能はほとんどの場合で、Stick 2 のモジュレーション・コントロールと同じですが、ビブラートやその類いのモジュレーションをサウンドに加えるために設定することができます。通常は、メインゾーンやソロ演奏で使用するアッパーのアフタータッチをオンにします。スプリットが有効な場合、ロウワーは伴奏やベースラインに使用されていることが多いからです。

保証について

すべてのFatar社Studiologicの製品は、細心の注意を払って製造、測定、動作テストを行っています。これにより、2年の保証期間を設けています。サポートを受けるために、お客様のNuma Concert / Stageのご登録をお願いいたします。不適切な運搬、設置、取扱いが原因による故障につきましては、保証の対象外とさせていただきますのでご注意ください。
これらは、伊FATAR社ならびに代理店が定める一般的条件に基づいています。機器の価格を上回る補償は、除外されますのでご了承ください。

CE-Conformity



FATAR srl
Zona Ind.le Squartabue
62019 Recanati MC Italy

FATAR社は、この製品がヨーロッパの基準に従って製造された製品であることを宣言いたします。

FCC-Regulation



- | | |
|--------------------|---------------|
| ・ 73/23/E | 低電圧指令 |
| ・ 89/336/EWG | EMC指令 |
| ・ DIN EN 55103-1&2 | オーディオ機器の電磁両立性 |

RoHS-Conformity



承認なく機器を改造された場合、この宣言は無効となります。

この製品は、2002/95/ECの基準に沿って製造されています。

Disposal / WEEE



EG指令2003/108/EGの第一の目的は、電気と電子機器(WEEE)の浪費の防止です。それに加えて再利用、リサイクル、回収により廃棄物の削減を目標としています。環境保全のためにご協力をお願いいたします。

State of the art

最良の品質を保証するために、Fatar社製全てのStudiologic製品は、最新の技術で設計されています。告知なく、アップデート、仕様の変更、改良等を行うことがございます。技術仕様ならびに製品の外観は本マニュアルと異なる場合がございますので、ご了承ください。

Trademarks

本マニュアルの全ての商標はそれぞれの所有者に帰属します。

Copyright

本マニュアルの一部もしくは全部を、著作権所有者の許可なく、いかなる形式において複製、転送することを禁止いたします。

Sound map			
	SOUND NAME	MIDI BANK	PROGRAM CHANGE
A.PIANOS	Concert	0	0
	Stage	1	0
	Vintage	2	0
	Studio	3	0
	Rock	0	1
	Upright	0	3
	E-Grand1	0	2
	E-Grand2	1	2
E.PIANO	Rhodb	0	4
	Wurlib	1	4
	E-Pno1	0	5
	E-Pno2	1	5
	DxFm1	2	5
	DxFm2	3	5
	DxFm3	4	5
	DxFm4	5	5
KEYS	Clavi	0	7
	Harpsi	0	6
	Vibes	0	11
	Marimba	0	12
	FunKlav	1	7
	Cembalo	1	6
	ReedOrg	0	20
	GloKeys	0	9
BASS/GUITAR	Ac-Bass	0	32
	El-Bass	1	33
	Slap	0	36
	Plucked	0	34
	Ny-Guitar	0	24
	El-Guitar	0	27
	Ac-Guitar	0	25
	Jz-Guitar	0	26
	2 Guitars	1	24
	12 Strings	1	25
	BassRide1	1	32
	BassRide2	1	33
ORGANS	JazzOrg1	0	17
	JazzOrg2	1	17
	DrawbVib	0	16
	AllDrawb	1	16
	888-Pure	0	18
	888-Scan	1	18
	MildSet	2	16
	AllEven	3	16

	SOUND NAME	MIDI BANK	PROGRAM CHANGE
ORGANS	V-Org	4	16
	F-Org	5	16
	Pipe1	1	19
	Pipe2	0	19
SYNTH	SynthPad	0	89
	SynHouse	1	7
	SweetSaw	2	7
	WowPad	0	95
	Soloist	4	7
	Funky	5	7
	SynBass1	6	7
	SynBass2	7	7
	Jump	0	81
	SynBrass	9	7
	Square	0	80
	Cluster	11	86
ORCHESTRA	Strings1	0	49
	Strings2	0	50
	Horns	0	60
	Brass	0	61
	Baroque	1	49
	BigBand	1	61
	BrassFall	2	61
	SaxBand	1	66
	TenorSax	0	66
	JazzFlute	0	73
	Trumpet	0	56
	Oboe	0	68
OTHER	Cassotto	0	23
	Accordition	0	21
	Musette	1	22
	Harmonica	0	22
	ChoirAh	0	52
	ChoirOh	0	53
	ChoirUh	1	53
	ChoirSint	0	54
	Bouzouki	1	104
	Kanoun	1	107
	Oud	1	105
	Cawala	1	75
	Mizmar	1	111
	Nai	1	72
	StndKit	14	5
	WorldKit	15	5

Studiologic Numa Compact, Version 1.00			
Basic information		Transmitted	Recognized
MIDI channels		1 - 16	1, 2, 16 (common ch.)
Note numbers		0 - 127	0 - 127
Program change		0 - 127	ch 1,2: 0, 1, 2, 4, 5, 7, 17, 18, 32, 33, 48, 50 ch 16: performance change (00-99)
Bank select		yes	no
MIDI Mode		- - -	multi
Note-On velocity		yes	yes
Note-Off velocity		yes	yes
Aftertouch		yes	yes
Pitch Bend		yes	yes
MIDI CC		Transmitted	Recognized
1	Modulation	yes	ch 1,2: sound modulation; ch 16: EFX control
7	Volume	yes	ch 1,2: sound level;
11	Expression	yes	yes
64	Sustain	yes	yes
91	Reverb EFX	yes	ch 1,2: reverb send, ch 16: reverb level
93	Modulation EFX	yes	ch 16: efx level
123	All notes off	yes	yes

MIDIインプリメンテーション・チャート

製品仕様

Studiologic Numa Compact 2		
Keyboard	Number of Keys	88
	Type	Semi-weighted Action TP/9 PIANO with Aftertouch
	Velocity Curves	3 default velocity curves + fixed curve with programmable value
Display	Type	OLED
	Resolution	128 x 64 dots
User Interface	Encoder	Rotation + push
	Controls	7 potentiometer 20 buttons 2 sticks
Inputs	Pedals	Expression + universal
Connections	MIDI	In - Out
	USB	Midi In/Out, USB to HOST, power
Power Supply	DC IN	12V - 2,5A
	Adapter	Input:100-240V Output: 12V-2,5A
Weight		7,1 Kg / 15,6 lbs

サイズ



製品サポートについて

本書をご覧いただいても解決できない問題がございましたら、Dirigent カスタマーサポートまでご連絡ください。
なお、サポート・サービスをご利用いただくためには、Dirigent へのユーザー登録が必要です。登録の確認ができない場合、サポート・サービスをご利用いただくことができません。予めご了承ください。

■Dirigentへのご登録方法：

Dirigentサポートページにアクセスし、Studiologicオンライン登録フォームよりご登録をお願いいたします。

■Dirigentカスタマーサポート：

電話でお問い合わせの際は、Dirigent へのご登録確認のため、お名前・製品名・製品シリアルナンバーをお伺いいたします。また、メールでのお問い合わせは、Dirigent サポートサイトのお問い合わせフォームをご利用ください。

電話番号：03-6264-7818（受付時間：平日10:30～17:00）

休業日：土日祝日および弊社特別休業日

Dirigentサポートサイト：<https://dirigent.jp/support/>